

第4回総合計画審議会での意見概要

基本構想について

区分	委員意見・質問等
P3	「21世紀中頃に概ね20,000人、令和3（2021）年に28,500人」とあるが、記載の順番が逆の方が良いのではないかと。
P19	「朝来市民の幸福度に影響を与える要素」はとても共感するものであり、市民一人一人を大切にしている本計画や朝来市らしさが表れている。
P19	「頼れる人がいる」とあるが、自己肯定感の高さを幸福度に含められるよう、「頼られる人がいる」の項目も併せて必要ではないかと。
P19	経済的な豊かさが幸福度にどのように影響するかについて個人差が生じる場所であるが、経済に限らず、「ありたいまちの姿5、6」等の実現によって、幸福度の根底部分を下支えしているものがあると思う。そこを施策指標でカバーしているという考えなら問題ないと思う。

基本計画の全般的なことについて

区分	委員意見・質問等
役割分担	語尾に「望まれます」が多い。市の計画であるため、市民に協力してほしいという希望とは思いますが、他人事に感じられてしまう。
施策指標	「R11年度」とあるが、目標値という表記があったほうが分かりやすいのではないかと。
施策指標	指標を達成できなかった場合はどうなるのか。

各施策について

【1】シビックプライドと未来をつくる力を育む人材育成の充実

区分	委員意見・質問等
ありたいまちの姿	『「やりたい」にチャレンジでき』とあるが、実践やアクションまでを含んでいると読み取れ、誤解を生みやすいのではないかと。
施策概要	「一人一人のチャレンジの実現につなげる人材育成の充実」とあるが、この施策でチャレンジの支援までを含んでいると読み取れ、誤解を生みやすいのではないかと。

①ア	対話の場の課題として「参加者の固定化が見られる」と記載されているが、そのとおりであり、多くの人に参加する対話の場への参加はハードルが高く、途中からの参加がし難いため、参加のハードルを下げる対策が必要ではないか。例えば、「少人数の開催」とあるが、地域などの小さな単位での対話があると対話の場への導入として参加しやすくなるのではないか。
①イ	高校生は家と学校の往復の生活になりがちで、高校としても地域とのつながりをつくりたいと考えている。
①ウ	「地域学習や仕事につながる講座等の学び」について、講座内容は充実しており魅力的だった。一方で、時間が限られる中で参加の時間調整は難しい状況にある。開催時間・曜日・方法の幅広く、柔軟であるとより参加しやすくなるのではないか。
②ア	開催されていない地域の人を読むと、こういった年齢層を対象に開催されているのか等のイメージつきにくい。
②ア	「学びの場づくりを支援」とあるが、こういった支援が行われているのか。例えば、「講師派遣等」と具体的に記載した方が分かりやすいのではないか。
②イ	高校生や大人になってから様々な場に急に参加することはハードルが高いが、子どもの時から地域とつながりを持っていると、中学生・高校生・大人になっても参加しやすくなるのではないか。子どもの頃からの地域とのつながりづくりが大切である。

【5】多様性を尊重する人権文化の醸成

区分	委員意見・質問等
①ア	巡回学習会等で人権について学ぶ機会は大切であり、部落差別を改めて意識するきっかけにもなるが、LGBT 等の新しい人権課題に触れる場になる方が良いのではないか。
①ア	人権課題は多様であるが、市民が触れるのは分野別になっている。全ての人権課題を知れる広報物や学びの場があると良いのではないか。
①ア	人権フェスティバルの開催等も、多様な人権問題について取り扱う方が良いのではないか。
①イ	「世代間ギャップ」、「幅広い年代層の市民が参加しやすい」とあるが、人権の問題は世代ごとに響くテーマや伝え方も違うので、世代ごとの取組やアプローチが必要ではないか。
①ウ	「身近に感じにくい人権課題や新たな人権課題等」とあるが、発達障害を含めた多様な障害について理解を進めることが、障害者差別につなげないために大切だと思う。
①	人権侵害にあった場合等、被害者になったときの対応や相談窓口の広報活動についても記載した方が良いのではないか。

②ア	男女の違いと特性を学ぶ機会など、学ぶ機会があれば、違いが分かり、互いに尊重しやすくなるのではないか。
②イ	「男女の固定的な役割分担意識や慣習」については、話し合いからのアプローチだけでなく、行動を変えて行くことを実践し、体験することを支援していくことで変えて行く方が良いのではないか。

【6】豊かな心を育む芸術文化の振興

区分	委員意見・質問等
①ア・イ	市民になかなか情報が伝わっていない。SNS・ケーブルテレビ・新聞等を活用し、もっと広く市民に届ける広報が必要ではないか。
①ア	自由研究の取組など、子ども向けの展示を多くしても良いのではないか。
①ア	市民に広くアンケートをとって企画展の企画を立てられれば良いのではないか。
①イ	「オンラインを活用した公演や展覧会の配信」とあるが、音楽祭の配信はとても良かった。ケーブルテレビとも連携し、芸術文化祭等、配信で楽しめる機会が増えると良いと思う。
①ウ・エ	子どもが芸術に触れる機会は貴重だと思う。芸術鑑賞会のように学校の授業との連携も含めて、子どもの芸術に触れる機会の充実を図っていただきたい。
②イ	あさご芸術の森は、子どもが遊べる公園と美術館が隣接しており、子どもが集いやすい。美術館と周辺の公園が一体的に運営できると良いのではないか。

【12】地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用

区分	委員意見・質問等
①ア	文化財の登録の順番について、地域計画策定時に聞き取りをする等、地域の想いを反映できると良いのではないか。
③イ	動画で記録を残すと説明を受けたが、絵本や紙芝居等、家庭で親から子へ地域の歴史文化を伝えられるツールができると良いのではないか。地域自治協議会単位でストーリーがきちんと伝わっていくと、神楽の舞手自身にも、郷土芸能の継承がもっと認識付けができる。
役割分担	現状では、ガイド団体を通さないとガイド活動ができないが、団体に所属まではしたくないと感じる市民もいる。市民ガイドの登録バンクがあれば、興味がある人が気軽に活動できるようになり、ガイド団体が活動していない地域もカバーできるし、高齢者にも張り合いになるのではないか。
施策指標 ①	指定・登録文化財が242件あることに驚いた。市民が文化財リストを見ることができると良いヒントが記載されていると良い。

施策指標 ②	<p>指標に竹田城跡の来場者数が入っていないのが気になる。普通の市民は「歴史文化遺産施設への入込客数」というと竹田城跡も当然入っていると思う。カッコ書きで4施設名を記載するか、竹田城跡だけ分けて記載する等、工夫してはどうか。</p> <p>市民も竹田城跡の数が減ってきていることを感じている。正直な数字を掲載して市民のやる気を起こすのも良いのではないか。</p>
-----------	---

【15】 まちの仲間になる移住定住の推進

区分	委員意見・質問等
①ア	「移住イベント等」とあるが、移住希望者にとっては体験会がとても良い取組なので、「体験会」という言葉が入ると、どのような取組をするかイメージがわきやすいのではないか。
①ア	朝来市の移住定住の仕組みは素晴らしい。市役所のどの自治体よりも親身に対応してくれるところが良かったと言う移住者の意見が多い。朝来市の移住定住施策の魅力である、体験会や移住後の地域との交流の場等、人をつなぐ場づくりを具体的に記載してはどうか。
①ア	「移住者」とあるが、結婚して移り住んだ人や、仕事の都合で移り住んだ人等、移住定住施策を利用せず移住した人も含まれるのか。地域とのつながりは、どんな経緯で移住した人にとっても大切であるため、情報提供や地域とのつながりづくりのサポートが必要ではないか。
①イ	空き家バンクの物件が適正価格かどうか借り手・買い手には分からず不安がある。不動産鑑定士などに相談できれば安心感が生まれると思う。

【17】 未来につながる多文化共生の推進

区分	委員意見・質問等
①ア	「在住外国人と地域とのつながりづくり」とあるが、自分の暮らす地域等に在住外国人の方がいるのを知らないのが現状である。知る機会がないと地域で主体的に動きにくく、交流につながらない。地域住民との積極的な交流の場が必要ではないか。
①ア	在住外国人同士の交流の場はあるのか。そういった場も大切ではないか。
①イ・ウ	「日本語教室」や「暮らしに必要な情報」については、在住外国人の方にも興味を持ってもらえるような、呼びかけ方の工夫が必要ではないか。
①	在住外国人にとって受け身の施策が多いが、持続的ウェルビーイングを考えると、在住外国人が能動的な関わりを持てることが大切ではないか。在住外国人の方の「やりたい」を応援できるような仕組みがあれば良いのではないか。

施策指標	現在の案は、市民目線からの指標となっているが、当事者でないと分からないことが多いため、当事者である在住外国人にとって住みやすいか等、在住外国人がどう感じているかを指標とする方が良いのではないかな。
その他	働く条件など、在住外国人の方も働きやすい環境づくりが必要ではないかな。

【18】一人一人が地域とつながる地域共生社会の実現

区分	委員意見・質問等
施策概要	「人と資源」の「資源」が何を指すのか分からない。明確な方が良いのではないかな。「社会資源」に置き換わるかもしれないが、誰もが分かりやすい言葉の方が良い。言いたいことは「既にある朝来市での活動」「市民の取組」等ではないかな。
②イ	事業実施方針で、「地域が主体となって課題解決」とあるが、「地域住民が」等、具体的な主体にまで踏み込んだほうが良いのでは。「地域」では主体がぼやけはしないかな。
②イ	課題で、「民生委員・児童委員が把握する地域課題を～共有する場がない」とあるが、民生委員としては個人情報共有はしにくい状況である。民生委員は国、協力委員は兵庫県、福祉委員は朝来市の委嘱している。地域で話していることが各委員で共有できるかはかなり難しいと思う。
施策指標	市民一人一人が生きがいを持って暮らすことが大切なので、支援を受けたり相談ごとを持っている人だけではなく、「誰にとっても」ということが大切ではないかな。指標では「朝来市民が生きがいをもって暮らせていますか？」など大きな視点のことを聞けると良いのではないかな。
その他	向こう三軒両隣会議で、地域課題の解決になったら良いのではないかな。
役割分担	市民の中から「民生委員・児童委員」が選ばれているが、委員とそうでない市民が分断されているように感じる。委員でない市民と委員が協力することが大切で、委員でない市民が、こういった活動をしている人がいるのだ、と関心をもつことが必要ではないかな。
役割分担	わがまち井戸端会議等、既に地域での集いや対話の場が計画されているという事実を踏まえて記載できないかな。現状の書き振りではまだ何も行動が起こされていないように感じるので、具体的な内容を盛り込んでほしい。
施策指標 ②	福祉委員とあるが、課題や事業実施方針には記載がない。記載は不要かな。
施策指標 ②	委員さんの活動回数は多い方が良いと思うが、この内容では、「ありたいまちの姿」の実現度合いを測れないのではないかな。今回の基本計画の内容に沿った指標として「地域課題を共有する場を設けた数（課題を解決した回数）」等、みんなで集まって考えたことを測る項目を追加しても良いのでは。

【22】 安心できる医療体制の充実

区分	委員意見・質問等
全体	オンライン診療をどのように考えられているか。もし考えられているのであれば、反映した方が良い。今はない場合でも、今後は、かかりつけ医がない人でも医療にかかれる体制が必要で、オンラインにも対応していくという朝来市の方向性を示し、市民に対して知ってもらう機会になるので記載した方が良いのではないか。
①	あさご未来会議など対話の場では「朝来市で出産したい」という意見が多い。但馬に周産期医療センターがあるので、「朝来市で」という認識を「但馬で」という認識に変えるPRをしていく必要があると感じた。
役割分担	健康体を維持するためには、予防（健康診断・人間ドック）が必要である。市民としては、健康管理の意識をもち、努めた方が良いのではないか。
施策指標	実施方針でかかりつけ医を持つことを推進しているので、「かかりつけ医を持っている人」「かかりつけ医の重要性を認識した人」等の割合を追加してはどうか。
施策指標	「地域の医療体制が充実していると感じる市民の割合」は出す必要があるか。どの会議でも不足・不満を聞くので、充実を感じる市民の割合をアンケートでとってなかなか数字が上がらないのではという心配がある。「健康診断に参加している」など健康維持のために何かしている市民を測った方が良いのではないか。

【23】 ころとからだが幸せになる健幸づくりの推進

区分	委員意見・質問等
施策概要	施策名は「健幸」だが、施策概要では「健康」になっているので、使い分けされているのか。朝来市は条例もあり「健幸」をよく使っているので、表現を統一した方が良いのではないか。 「～自身が主体となって健康づくりができるよう、」は「健幸」にしてもいいのではないか。
①ア・イ	タイトルは「健幸」となっているが、説明文はすべて「健康」になっている。全体として使い分けを整理できるか。
役割分担	役割分担の関係団体に学校がない。若い人の自殺や、薬物、アルコールの問題は、学校と連携した方が良いのではないか。
施策指標	この施策は、心身の健康が幸せにつながるという考えなので、まずは市民が健康体であることが重要である。「健康（健幸）に生き生きと暮らせている市民の割合」という指標があった方が良いのではないか。
施策指標	「健康寿命」を測ってはどうか。健康寿命が延びて、健康寿命と平均寿命の差が縮まることが大切である。平均寿命だけ上がって、健康寿命との差が広がっていつては健幸ではない。
その他	朝来市の健康づくり条例に基づき、具体的な内容や取組を記載してはどうか。

【24】 自然を守り暮らしと産業を創造する土地利用の推進

区分	委員意見・質問等
①イ	「豊富な地域資源」とは具体的に何か。観光とタイアップすることで活性化を目指しているのか。
②イ	公園の防災機能等も見えるような表現にしてはどうか。高齢者も含めて様々な世代が使いやすくなるような表現が望ましいのではないかな。
施策指標 ①	「計画的な土地利用が進められていると感じる」という市民意識は、事業をやった地区とそうでない地区で差が出るのではないかな。
その他	それぞれの地域のまちづくりについてヒアリングをしているのか。地域で聞かれたことがない。

【26】 暮らしを守る防犯・交通安全の推進

区分	委員意見・質問等
①ア	防犯カメラの設置がなかなか進まない。ダミーを設置する等、予算内でできる方法を考えてはどうか。
①ア	防犯カメラ設置によって解決できた事例を紹介して、抑止力につなげてはどうか。
②ア	小学校で自転車教室があるが、地域自治協議会も関われる機会にしてはどうか。
②イ	元気な高齢者はバスに乗降できるが、そうでない高齢者はタクシー利用が必要となる。将来的にタクシー助成を考えた方が良くないかな。
その他	第2次総合計画のときと内容があまり変わっていないのではないかな。

【27】 生活基盤の持続可能な維持管理・確保

区分	委員意見・質問等
①	国道等の白線が消えているところがある。最先端の運転補助技術にとって白線は重要となる。管理は市と異なると思うが、ワンストップ窓口があるとより良い。
①	農業用水路等について、どこが誰の管理なのかが地域自治協議会単位で分かる仕組みがあると良い。
施策指標 ②	定住促進住宅入居率をみると空き部屋があるということだが、募集をかけても入らないのか。100%を目指さないのはなぜか。
施策指標 ②	市営住宅管理戸数の目標が削減になっているということは、老朽化しても更新する価値がないということか。
施策指標 ②	目的から考えると、定住促進住宅について、入居率よりも退去後に朝来市に定住された方がどれくらいおられるかが重要ではないかな。

【28】暮らしを支える上下水道の維持管理・運営

区分	委員意見・質問等
①②ア	水道施設数を明記した方が、ダウンサイジングやスペックダウンが具体的に伝わりやすいのではないか。
①②イ	「水需要の減少により経営の健全化が必要」と記載があるが、水をたくさん使った方が良いように捉えられてしまう可能性がある。まずは水資源を大切に使うのが大前提で、今後上下水道施設を更新していくためには財源を確保する必要があるということをはっきりと伝える方が良いのではないか。例えば、修繕した水道管の総延長と投資額を記載して、数的に水の大切さが表現される良い。
①②イ	経費削減は具体的にどのようにするのか。一つでも良いので例示すると分かりやすいし、経費削減でも大丈夫と安心できるのではないか。
その他	山東町には工業団地があるが、企業が立地しても排水スペックが間に合わないと思う。

【29】地球に優しいエネルギーと資源の循環の推進

区分	委員意見・質問等
①イ	PTAの資源回収について、コロナ禍もあってやめるところが続出している。支所単位でゴミの持ち込みができる等の対策ができないか。
①イ・ウ	小学校PTAで回収をしなくなっているのは大きな問題。PTAだけで回収しているという認識で資源回収をやめてしまうと、地域の高齢者が子どもたちのために段ボール等を貯め続けて処理に困ってしまうことになる。資源回収でこれだけの金額がPTAに入るなど、効果を見える化できたら資源回収の評価も変わるのではないかと。
①ウ	ごみ出しに困難が生じているのは高齢者だけではない。引きこもりや転入者など、支援が必要な人は他にもいる。
①エ	3010運動の情報発信を、誰にどこでするのか、具体的に記載した方が分かりやすいのではないか。
③ア	木質バイオマスや太陽光等新エネルギー利用をすれば脱炭素社会につながるというのは、ミスリードになるのではないかと。「スイッチを消そう」など市民が関わりやすい表現で、省エネルギー問題と市民の生活がつながっていることをシンプルに伝えるのが良いのではないかと。
施策指標 ①	ごみ排出量は人口が減れば減るはず。目標を一人当たりのごみ排出量にして、全国平均と比べると、一人一人が具体的に意識できる。現状と課題に数値を追記しても分かりやすいのではないかと。

【33】 効果的かつ効率的な行財政運営の推進

区分	委員意見・質問等
①イ	「ふるさと寄附金」とは、ふるさと納税制度と同じ意味か。
③ア	実施方針で「市民理解を得ながら再配置に取り組む」とあるが、実際に取組が行われているのか。
役割分担	市民の役割として「行財政運営に協力」とあるが、どういったことが協力にあたるのか。
施策指標	市民が行財政運営の状態について評価できると良い。市民は納税での協力はもちろん、評価する責任があるのではないか。
質問	指標の将来負担比率の現状と目標値である R11 年度の数値の意味が知りたい。

【34】 市民とともにある職員の育成・組織力の強化

区分	委員意見・質問等
①ア 施策指標 ①	「定員の適正化により H17 年度の 453 人から R3 年度に 334 人になった」とあるが、臨時職員は何名いて、H17 年度からどのくらい増減しているのか。 業務量に合った適正な人数を判断するためには、正規職員だけでなく臨時職員も含めた人数でなければならないのではないか。
①ウ	テレワークについて記載があるが、オンライン環境の整備は進んでいるのか。また、担当課は総務課なのか。
②ウ	実施方針で「積極的に参画」とあるが、実際の参加状況はどうか。頑張ってもらいたいと思うが、日常の仕事が終わった後に地域自治協議会の活動に参加するのはなかなか難しいと感じる。
役割分担	職員が積極的に関わろうとするだけでなく、市民にも「積極的に職員と協力してほしい」等の記載があっても良いのではないか。
施策指標 ②	「信頼できる職員育成」とあるが、「育成」は内部的な話なので一般市民には分からない。育成について聞きたいなら市民の役割と密接に関わって記載できると良い。ここでは、「信頼できる職員がいるかどうか」を測るだけで良いのではないか。

【35】 広域行政組織等団体との連携の推進

区分	委員意見・質問等
施策概要	「地域振興を推進」とあるが、広域連携において「地域振興」が適切か。
①ア・イ	「関係市町」とあるが、但馬地域だけでなく南向きの市町との連携もあるか。
②イ	兵庫県との連携は意識していなくても良いのか。専門職大学などは県立で、但馬連携もいわば県なので、記載しておいたほうが良いのではないか。

②ウ	福知山市と丹波市は記載されているが、隣接している宍粟市は連携しないのか。生活圏としてのつながりが弱くても行政としては学べる部分もあるので記載しておいた方が良いのではないか。
②ウ	「3市連携推進連絡会議」とあるが、これは既にできているのか。
③イ	芸術文化観光専門職大学と連携して取り組める課題とはどんなものがあるのか。